

団地・高経年マンション再生

定住率が高く高齢化が進む分譲団地及び高経年マンションの再生をテーマとした建築士のためのセミナーです。建築士が「コンサルタント」「居住者」どちらの立場で関与する場合も、建築士として信頼されるために役立つシリーズ研鑽セミナーを企画しました。Vol.1は「財源確保のノウハウ」がテーマです。

『資金計画に明るい建築士』 を目指して

団地・高経年マンション再生セミナー Vol.1

合意を導く財源確保のノウハウと事例



資金計画のキーポイント

団地・高経年マンションの再生計画の提案において「資金面の裏付けや提案」は必須、建築士の役割、関わりとして重要なテーマです。

提案内容を構想から実事業に着地させるには、
1. 修繕積立金 2. 助成金（補助金） 3. 融資の3要素を、成立可能かつ実現しうる資金計画として結実させることが、提案への理解や合意形成の重要なカギとなります。

講演1では、助成制度の活用を模索します。国や自治体等の助成金は、利用可能であれば有益な資金源となります。助成制度の把握に始まり、計画の制度へのすり合わせや申請技術など、建築士ならではの能力を活かせる局面となります。最大限の再生を結実させるため可能な限り利用したい助成金について、また、100年マンションといった資産価値向上や省エネについて、経験豊かな高屋利行氏にご講演いただきます。

講演2では、多様な融資を考えます。当座の資金不足を補う融資制度も、資金計画の重要な要素です。通常の管理組合向け・個人向け融資に加え、費用の負担をためらう高齢者に向けた、再生住宅を返済原資とするリバースモーゲージなど、住宅再生を後押しする多様な融資が用意されています。合意形成に向けた資金計画提案のポイントや、成功事例などを、実務に通じた松村収氏にご説明いただきます。

パネルディスカッションでは、モデレーター伊福澄哉氏のもと、資金計画のキーポイントを複合的に把握しつつ、再生計画の提案を一連の流れの中で「管理組合、理事会、修繕委員会」に提案する際のプロセスの重要性を発信致します。



高屋利行

株式会社 高屋設計 環境デザインルーム 代表取締役
公益社団法人 日本建築家協会理事 北陸支部支部長 登録建築家
1990年 高屋建築設計事務所を経て現会社を設立
2005年より 環境省・国交省の助成金制度の活用に取り組んでいる



松村収

住宅金融支援機構 マンション・まちづくり支援部長
2017年 住宅金融支援機構 CS推進部長
2018年 住宅金融支援機構 四国支店長
2021年4月より 現職

2021年5月29日（土）

14:00~16:30 ZOOM オンラインセミナー（定員：400名）

- 14:00~14:10 趣旨説明
- 14:10~14:40 講演1「補助金を活用した大規模修繕工事（資産向上型）」 高屋利行氏
- 14:40~15:10 講演2「マンションの資産価値の維持向上を図る修繕の資金計画と融資制度」 松村収氏
- 15:15~16:10 パネルディスカッション+Q&A（モデレーター 伊福澄哉氏）
- 16:10~16:30 挨拶・アンケート

お申し込みはWEB「Peatix」で 下記のURLまたはQRコードからアクセスいただき、必要事項、会員番号を入力の上お申し込み下さい。

<https://tokyokenchikushikai20210529.peatix.com>

参加チケット 1,000円/PC一台（販売期間 5/27 23:59 まで）

お問い合わせ （一社）東京建築士会 03(3527)3100 [担当 安良岡] 開催当日に限り 03(3312)5834 [寺尾]

□本セミナーは「ZOOM」アプリケーションを使用したWEB配信限定セミナーです。申込会員と同室の聴講は可能ですが、セミナーの撮影、録画、録音はご遠慮ください。
□個人情報取扱：申込フォームに記載頂いた情報は適切に管理し、本セミナーの運営及び東京建築士会が開催するイベントの案内・照会の為に利用する場合があります。
企画 一般社団法人東京建築士会 住宅問題委員会 主催 一般社団法人東京建築士会

